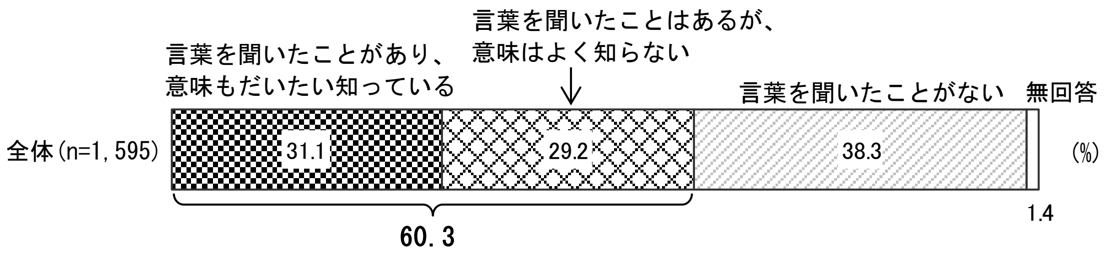
８　多文化共生社会の推進について

（１）「多文化共生」の認知状況

◇『聞いたことがある（計)』が６割

問27　あなたは、「多文化共生」という言葉について聞いたことがありますか。（○は１つ）

＜図表８－１＞「多文化共生」の認知状況



「多文化共生」という言葉について聞いたことがあるかを聞いたところ、「言葉を聞いたことがあり、意味もだいたい知っている」（31.1％）と「言葉を聞いたことはあるが、意味はよく知らない」（29.2％）を合わせた『聞いたことがある（計)』（60.3％）が６割となっている。

一方、「言葉を聞いたことがない」（38.3％）が約４割となっている。（図表８－１）

【地域別】

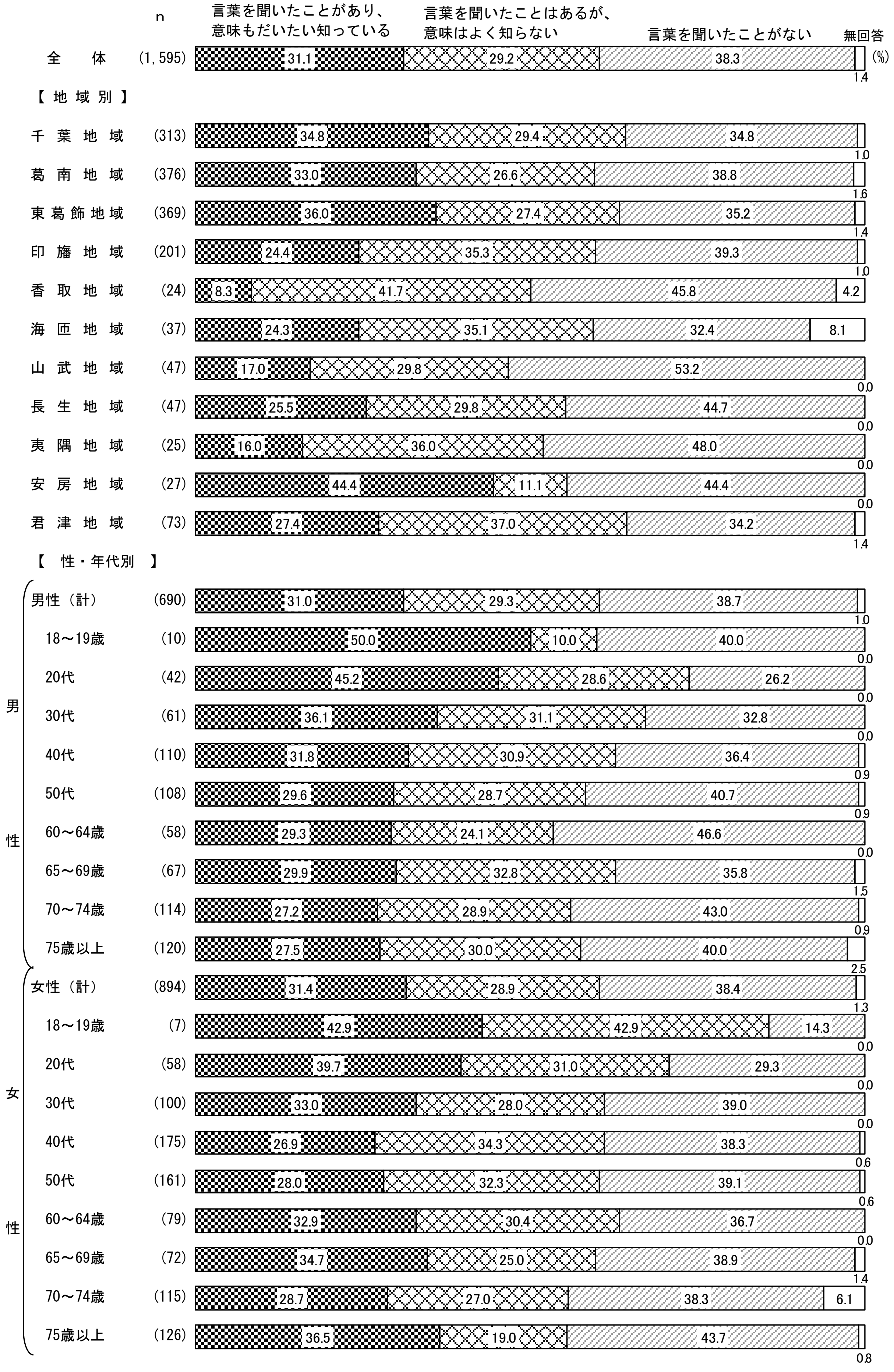
地域別にみると、「言葉を聞いたことがあり、意味もだいたい知っている」は“東葛飾地域”（36.0％）が３割台半ばと高くなっている。

一方、「言葉を聞いたことがない」は“山武地域”（53.2％）が５割を超えて高くなっている。（図表８－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「言葉を聞いたことがあり、意味もだいたい知っている」は男性の20代（45.2％）が４割台半ばと高くなっている。（図表８－２）

＜図表８－２＞「多文化共生」の認知状況／地域別、性・年代別

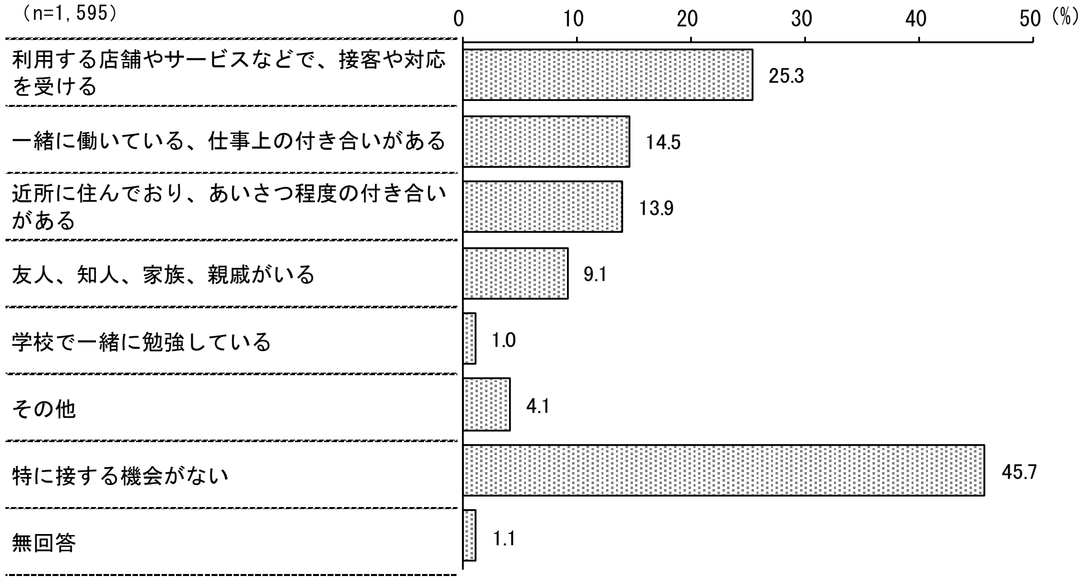


（２）外国人住民と接する機会

◇「利用する店舗やサービスなどで、接客や対応を受ける」が２割台半ば

問28　あなたは、日常生活の中で、外国人住民と接する機会がありますか。（○はいくつでも）

＜図表８－３＞外国人住民と接する機会（複数回答）



外国人住民と接する機会を聞いたところ、「利用する店舗やサービスなどで、接客や対応を受ける」（25.3％）が２割台半ばと最も高く、以下、「一緒に働いている、仕事上の付き合いがある」（14.5％）、「近所に住んでおり、あいさつ程度の付き合いがある」（13.9％）が続く。

一方、「特に接する機会がない」（45.7％）が４割台半ばとなっている。（図表８－３）

【地域別】

地域別にみると、「利用する店舗やサービスなどで、接客や対応を受ける」は“千葉地域”（30.7％）が３割で高くなっている。

一方、「特に接する機会がない」は“海匝地域”（62.2％）が６割を超え、“君津地域”（58.9％）が約６割で高くなっている。（図表８－４）

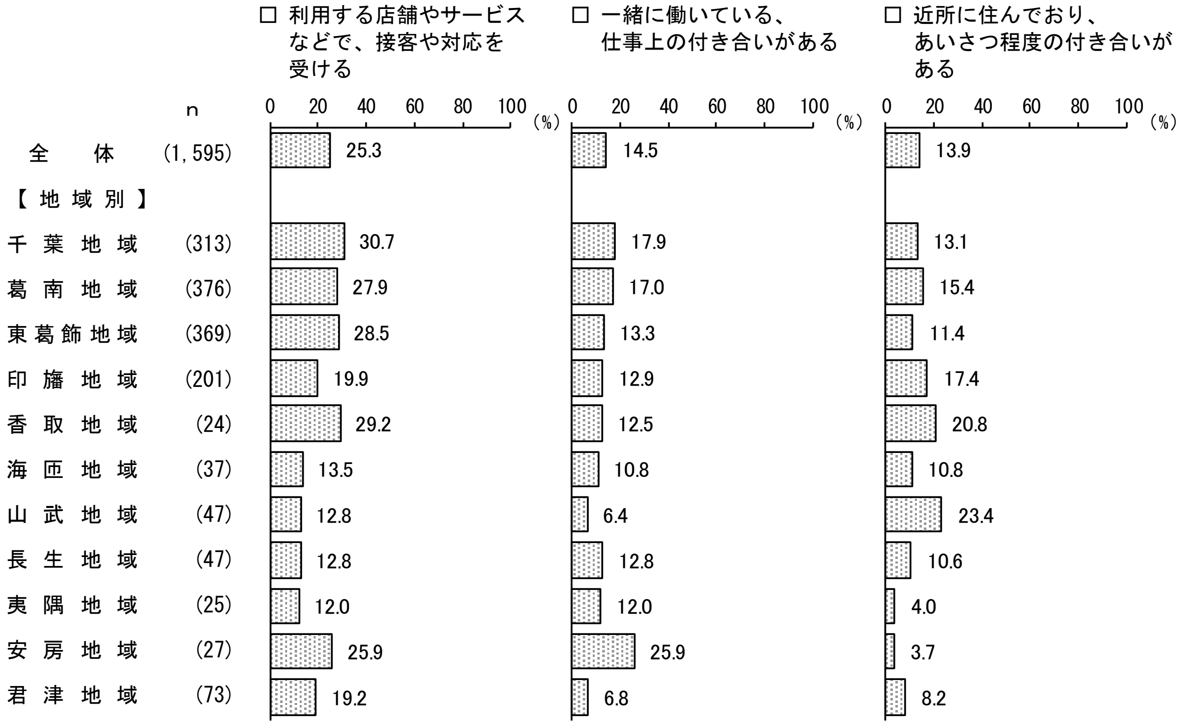
【性・年代別】

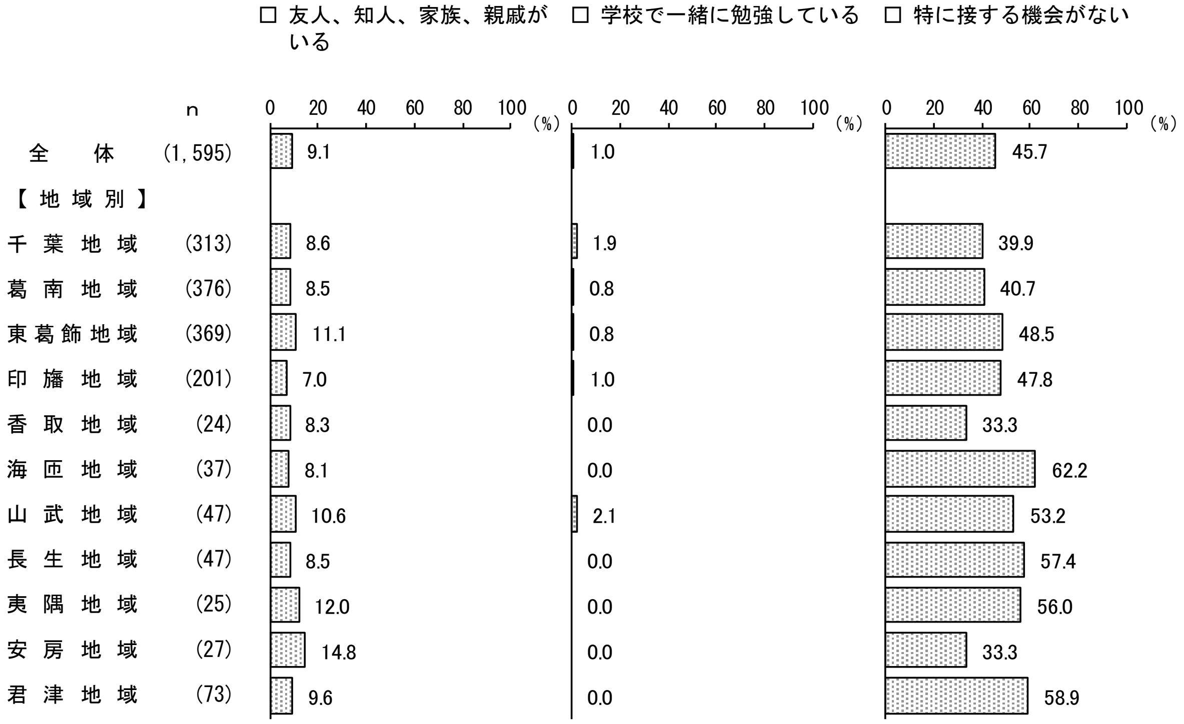
性・年代別にみると「利用する店舗やサービスなどで、接客や対応を受ける」は女性の20代（39.7％）と男性の30代（39.3％）が約４割、女性の30代（35.0％）が３割台半ば、男性の50代（33.3％）が３割を超えて高くなっている。

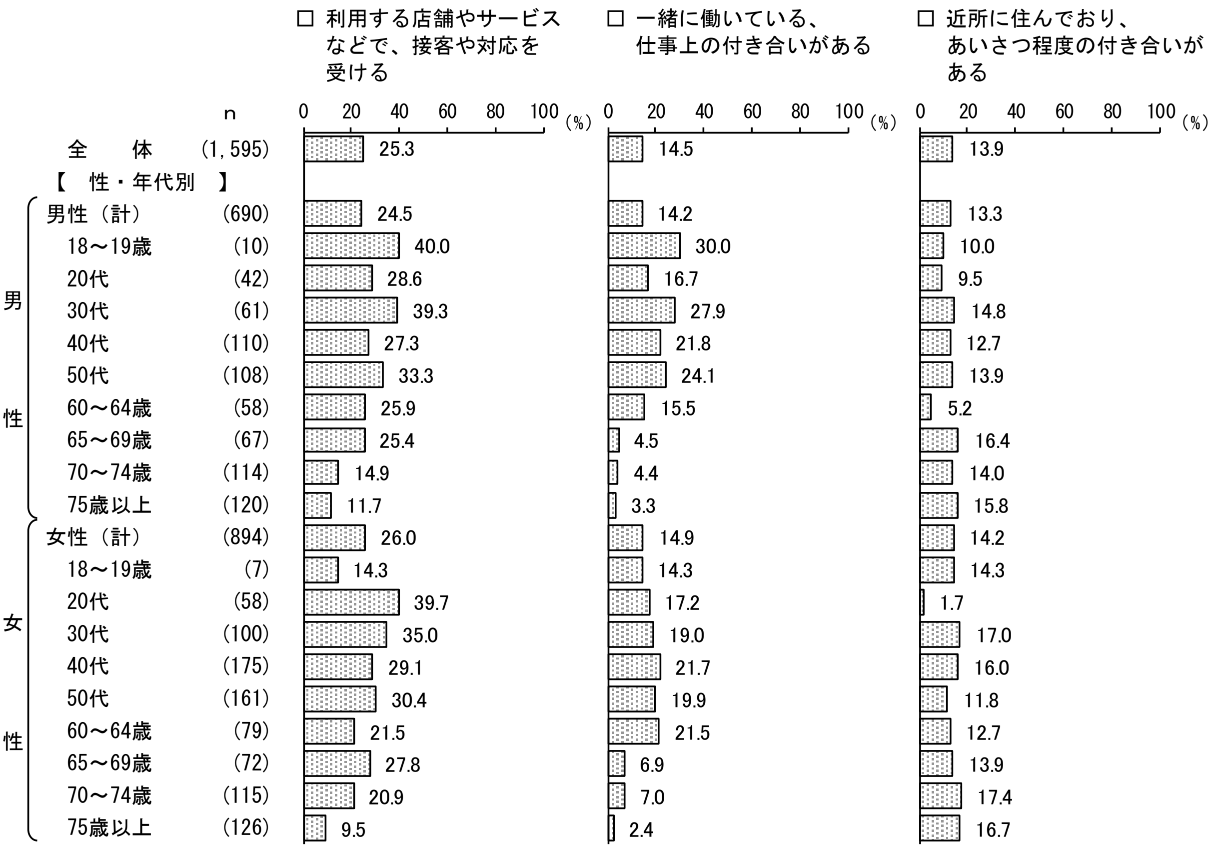
「一緒に働いている、仕事上の付き合いがある」は男性の30代（27.9％）が約３割、男性の50代（24.1％）が２割台半ば、男性の40代（21.8％）と女性の40代（21.7％）が２割を超え、女性の50代（19.9％）が約２割で高くなっている。

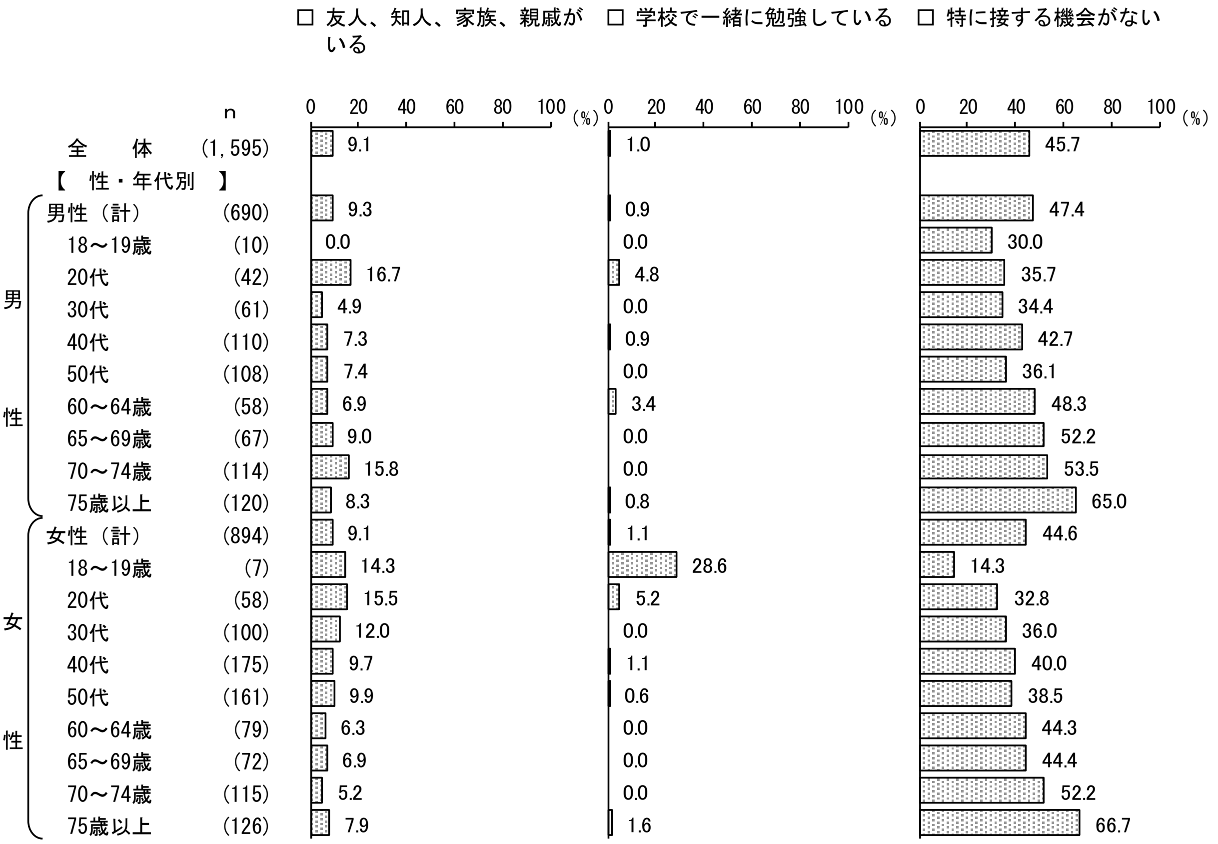
一方、「特に接する機会がない」は女性の75歳以上（66.7％）と男性の75歳以上（65.0％）が６割台半ばと高くなっている。（図表８－４）

＜図表８－４＞外国人住民と接する機会（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）






□ 利用する店舗やサービスなどで、接客や対応を受ける
□ 一緒に働いている、仕事上の付き合いがある
□ 近所に住んでおり、あいさつ程度の付き合いがある
n
0 20 40 60 80 100 (%)
全　体 (1,595) 25.3 14.5 13.9
【 性・年代別 】
男性
男性（計） (690) 24.5 14.2 13.3
18～19歳 (10) 40.0 30.0 10.0
20代 (42) 28.6 16.7 9.5
30代 (61) 39.3 27.9 14.8
40代 (110) 27.3 21.8 12.7
50代 (108) 33.3 24.1 13.9
60～64歳 (58) 25.9 15.5 5.2
65～69歳 (67) 25.4 4.5 16.4
70～74歳 (114) 14.9 4.4 14.0
75歳以上 (120) 11.7 3.3 15.8
女性
女性（計） (894) 26.0 14.9 14.2
18～19歳 (7) 14.3 14.3 14.3
20代 (58) 39.7 17.2 1.7
30代 (100) 35.0 19.0 17.0
40代 (175) 29.1 21.7 16.0
50代 (161) 30.4 19.9 11.8
60～64歳 (79) 21.5 21.5 12.7
65～69歳 (72) 27.8 6.9 13.9
70～74歳 (115) 20.9 7.0 17.4
75歳以上 (126) 9.5 2.4 16.7

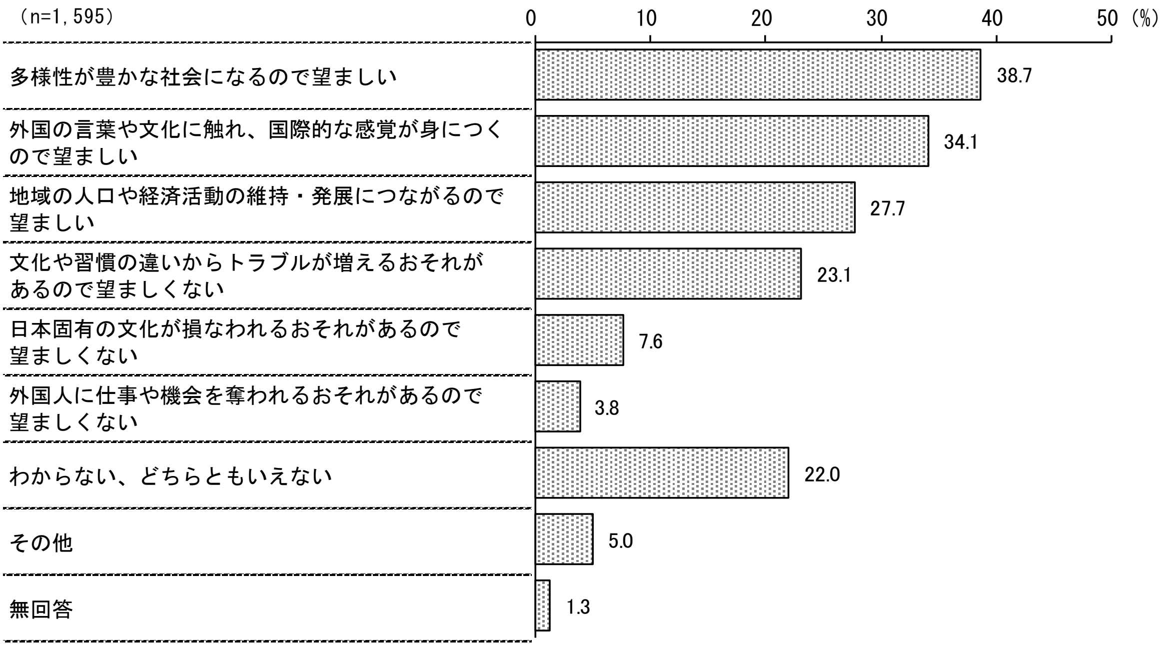

□ 友人、知人、家族、親戚がいる
□ 学校で一緒に勉強している
□ 特に接する機会がない
n
0 20 40 60 80 100 (%)
全　体 (1,595) 9.1 1.0 45.7
【 性・年代別 】
男性
男性（計） (690) 9.3 0.9 47.4
18～19歳 (10) 0.0 0.0 30.0
20代 (42) 16.7 4.8 35.7
30代 (61) 4.9 0.0 34.4
40代 (110) 7.3 0.9 42.7
50代 (108) 7.4 0.0 36.1
60～64歳 (58) 6.9 3.4 48.3
65～69歳 (67) 9.0 0.0 52.2
70～74歳 (114) 15.8 0.0 53.5
75歳以上 (120) 8.3 0.8 65.0
女性
女性（計） (894) 9.1 1.1 44.6
18～19歳 (7) 14.3 28.6 14.3
20代 (58) 15.5 5.2 32.8
30代 (100) 12.0 0.0 36.0
40代 (175) 9.7 1.1 40.0
50代 (161) 9.9 0.6 38.5
60～64歳 (79) 6.3 0.0 44.3
65～69歳 (72) 6.9 0.0 44.4
70～74歳 (115) 5.2 0.0 52.2
75歳以上 (126) 7.9 1.6 66.7

（３）外国人住民が増えていることについての考え

◇「多様性が豊かな社会になるので望ましい」が約４割

問29　あなたは、外国人住民が増えていることについてどう思いますか。（○は３つまで）

＜図表８－５＞外国人住民が増えていることについての考え（複数回答）



外国人住民が増えていることについての考えを聞いたところ、「多様性が豊かな社会になるので望ましい」（38.7%）が約４割で最も高く、以下、「外国の言葉や文化に触れ、国際的な感覚が身につくので望ましい」（34.1%）、「地域の人口や経済活動の維持・発展につながるので望ましい」（27.7%）、「文化や習慣の違いからトラブルが増えるおそれがあるので望ましくない」（23.1%）が続く。（図表８－５）

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表８－６）

【性・年代別】

性・年代別にみると「多様性が豊かな社会になるので望ましい」は女性の20代（53.4%）が５割を超え、女性の30代（48.0%）が約５割で高くなっている。

「外国の言葉や文化に触れ、国際的な感覚が身につくので望ましい」は女性の30代（51.0%）が５割を超えて高くなっている。

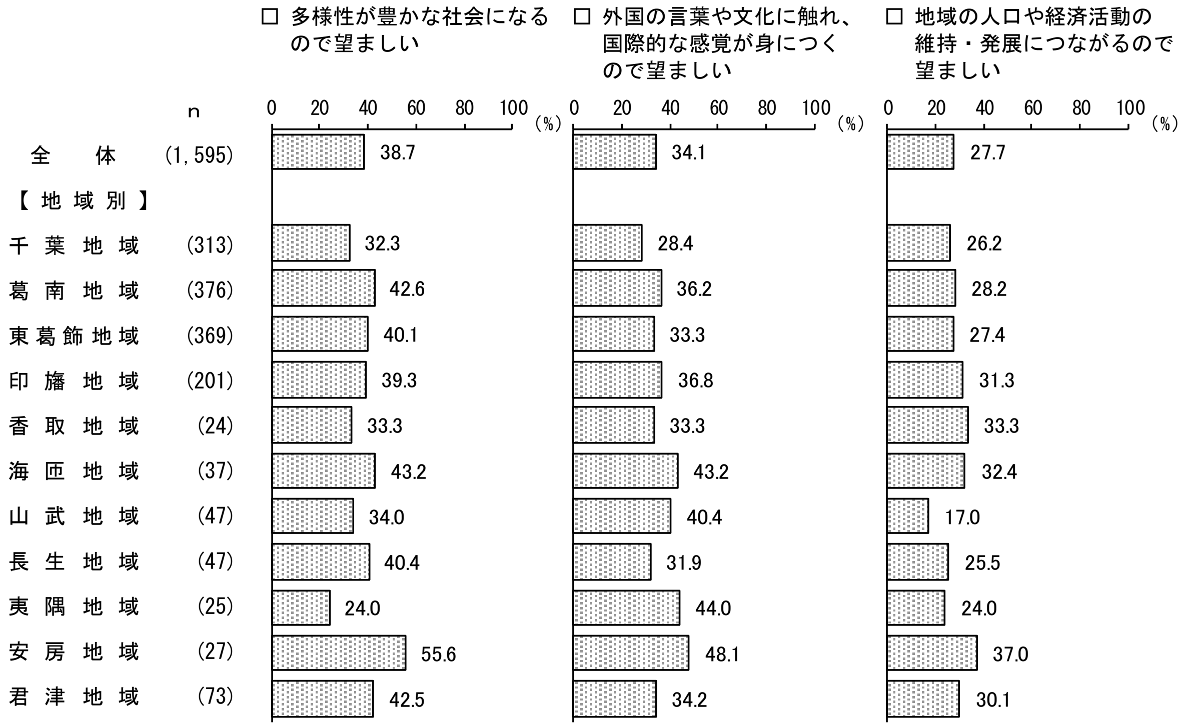
「地域の人口や経済活動の維持・発展につながるので望ましい」は男性の70～74歳（38.6%）が約４割で高くなっている。

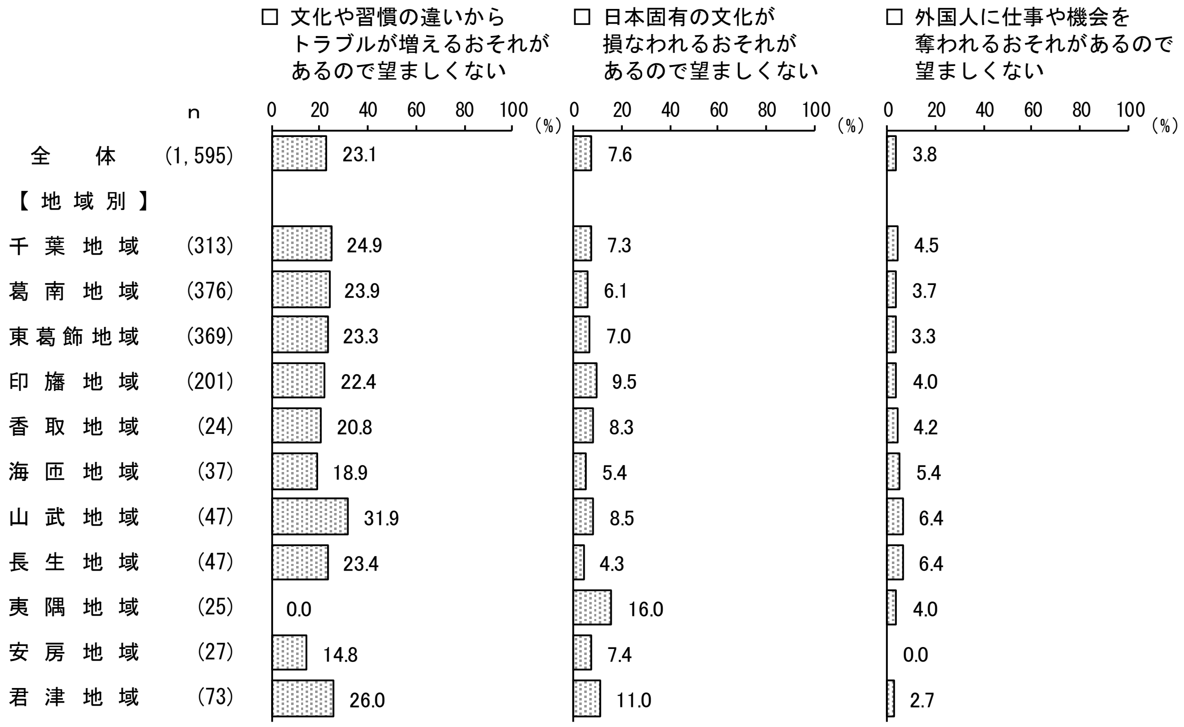
「文化や習慣の違いからトラブルが増えるおそれがあるので望ましくない」は男性の50代（41.7%）が４割を超え、男性の60～64歳（36.2%）が３割台半ばと高くなっている。

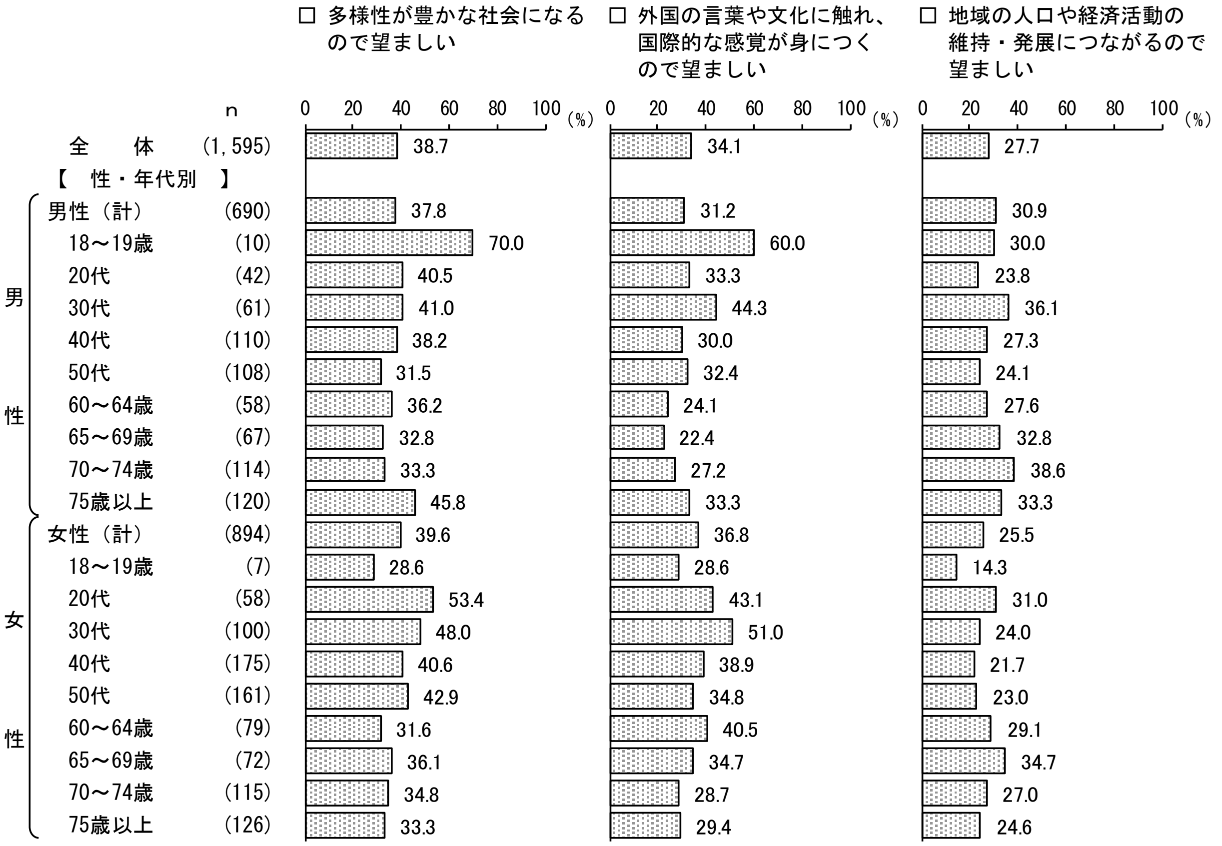
（図表８－６）

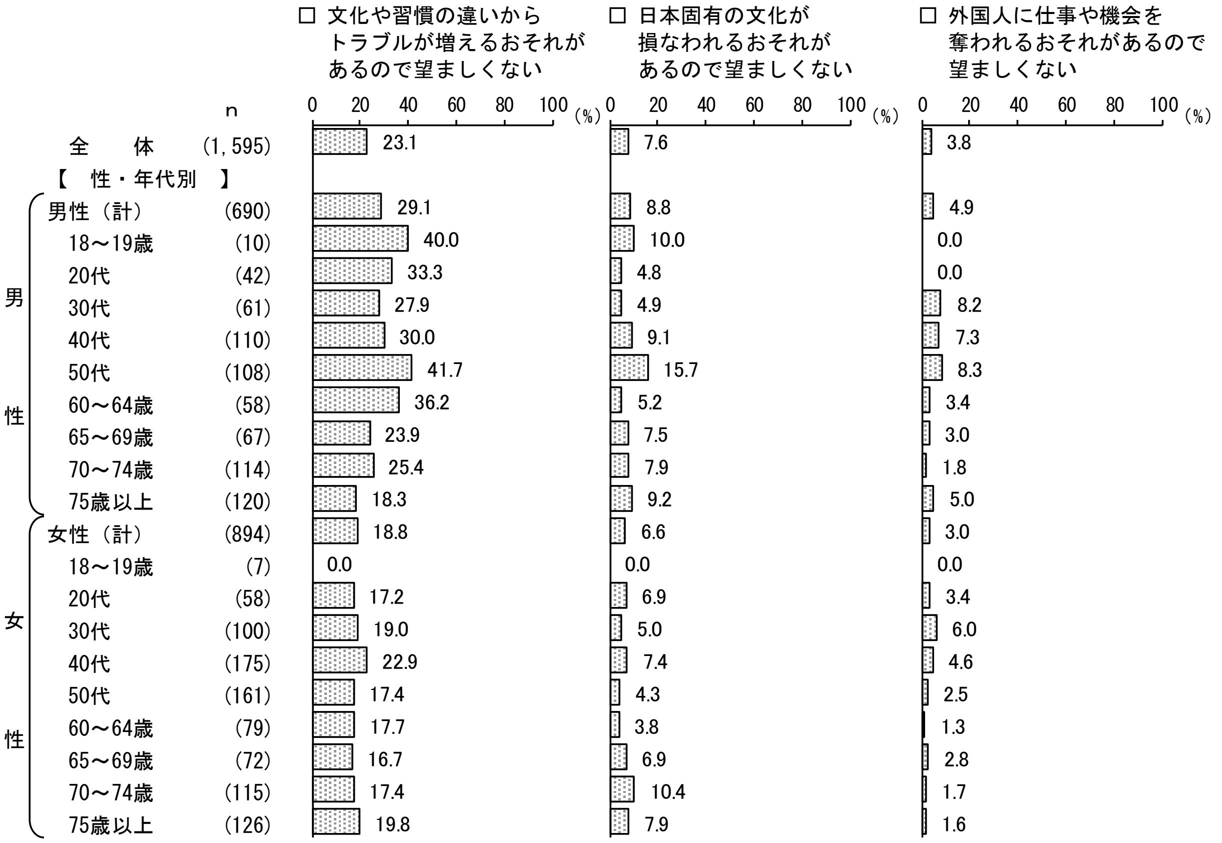
＜図表８－６＞外国人住民が増えていることについての考え（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位６項目）






□ 多様性が豊かな社会になるので望ましい
□ 外国の言葉や文化に触れ、国際的な感覚が身につくので望ましい
□ 地域の人口や経済活動の維持・発展につながるので望ましい
n
0 20 40 60 80 100 (%)
全　　体 (1,595) 38.7 34.1 27.7
【　性・年代別　】
男性（計） (690) 37.8 31.2 30.9
18～19歳 (10) 70.0 60.0 30.0
20代 (42) 40.5 33.3 23.8
30代 (61) 41.0 44.3 36.1
40代 (110) 38.2 30.0 27.3
50代 (108) 31.5 32.4 24.1
60～64歳 (58) 36.2 24.1 27.6
65～69歳 (67) 32.8 22.4 32.8
70～74歳 (114) 33.3 27.2 38.6
75歳以上 (120) 45.8 33.3 33.3
女性（計） (894) 39.6 36.8 25.5
18～19歳 (7) 28.6 28.6 14.3
20代 (58) 53.4 43.1 31.0
30代 (100) 48.0 51.0 24.0
40代 (175) 40.6 38.9 21.7
50代 (161) 42.9 34.8 23.0
60～64歳 (79) 31.6 40.5 29.1
65～69歳 (72) 36.1 34.7 34.7
70～74歳 (115) 34.8 28.7 27.0
75歳以上 (126) 33.3 29.4 24.6
男性
女性

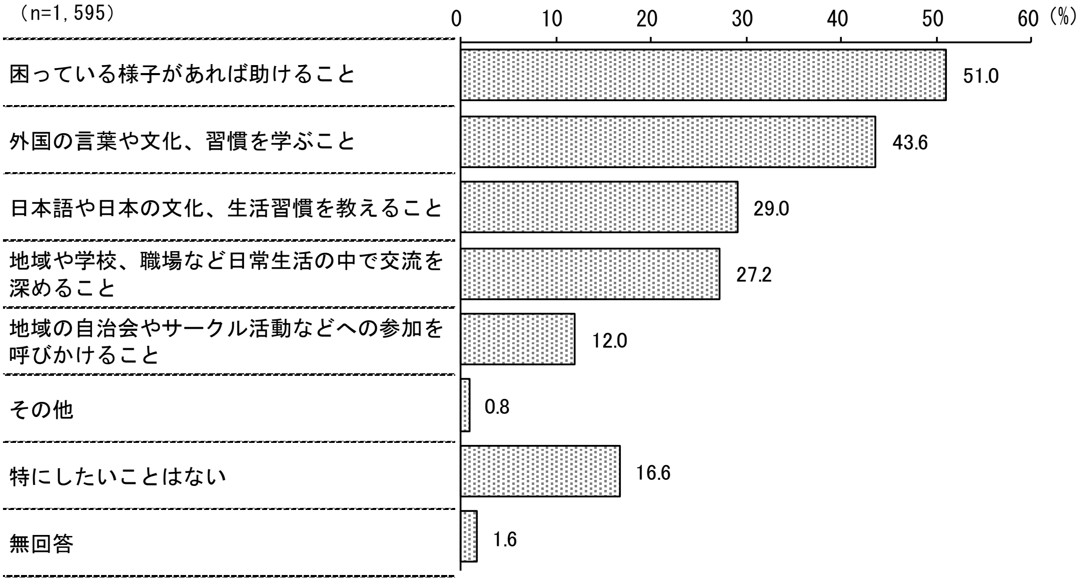

□ 文化や習慣の違いからトラブルが増えるおそれがあるので望ましくない
□ 日本固有の文化が損なわれるおそれがあるので望ましくない
□ 外国人に仕事や機会を奪われるおそれがあるので望ましくない
n
0 20 40 60 80 100 (%)
全　　体 (1,595) 23.1 7.6 3.8
【　性・年代別　】
男性（計） (690) 29.1 8.8 4.9
18～19歳 (10) 40.0 10.0 0.0
20代 (42) 33.3 4.8 0.0
30代 (61) 27.9 4.9 8.2
40代 (110) 30.0 9.1 7.3
50代 (108) 41.7 15.7 8.3
60～64歳 (58) 36.2 5.2 3.4
65～69歳 (67) 23.9 7.5 3.0
70～74歳 (114) 25.4 7.9 1.8
75歳以上 (120) 18.3 9.2 5.0
女性（計） (894) 18.8 6.6 3.0
18～19歳 (7) 0.0 0.0 0.0
20代 (58) 17.2 6.9 3.4
30代 (100) 19.0 5.0 6.0
40代 (175) 22.9 7.4 4.6
50代 (161) 17.4 4.3 2.5
60～64歳 (79) 17.7 3.8 1.3
65～69歳 (72) 16.7 6.9 2.8
70～74歳 (115) 17.4 10.4 1.7
75歳以上 (126) 19.8 7.9 1.6
男性
女性

（４）お互いの理解を深めるためにしてみたいこと

◇「困っている様子があれば助けること」が５割を超える

問30　外国人住民とお互いの理解を深めるために、機会があればあなた自身がしてみたいことは何ですか。（〇は３つまで）

<図表８－７>お互いの理解を深めるためにしてみたいこと（複数回答）



お互いの理解を深めるためにしてみたいことについて聞いたところ、「困っている様子があれば助けること」（51.0％）が５割を超えて最も高く、以下、「外国の言葉や文化、習慣を学ぶこと」（43.6％）、「日本語や日本の文化、生活習慣を教えること」（29.0％）、「地域や学校、職場など日常生活の中で交流を深めること」（27.2％）が続く。（図表８－７）

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表８－８）

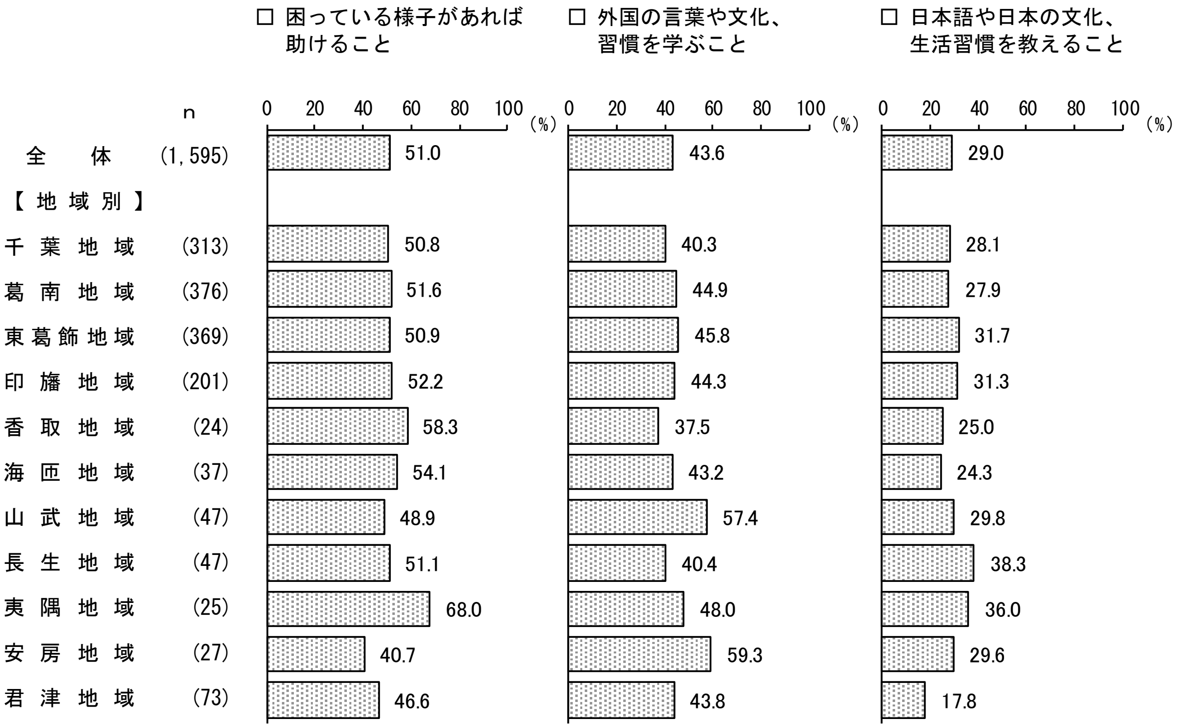
【性・年代別】

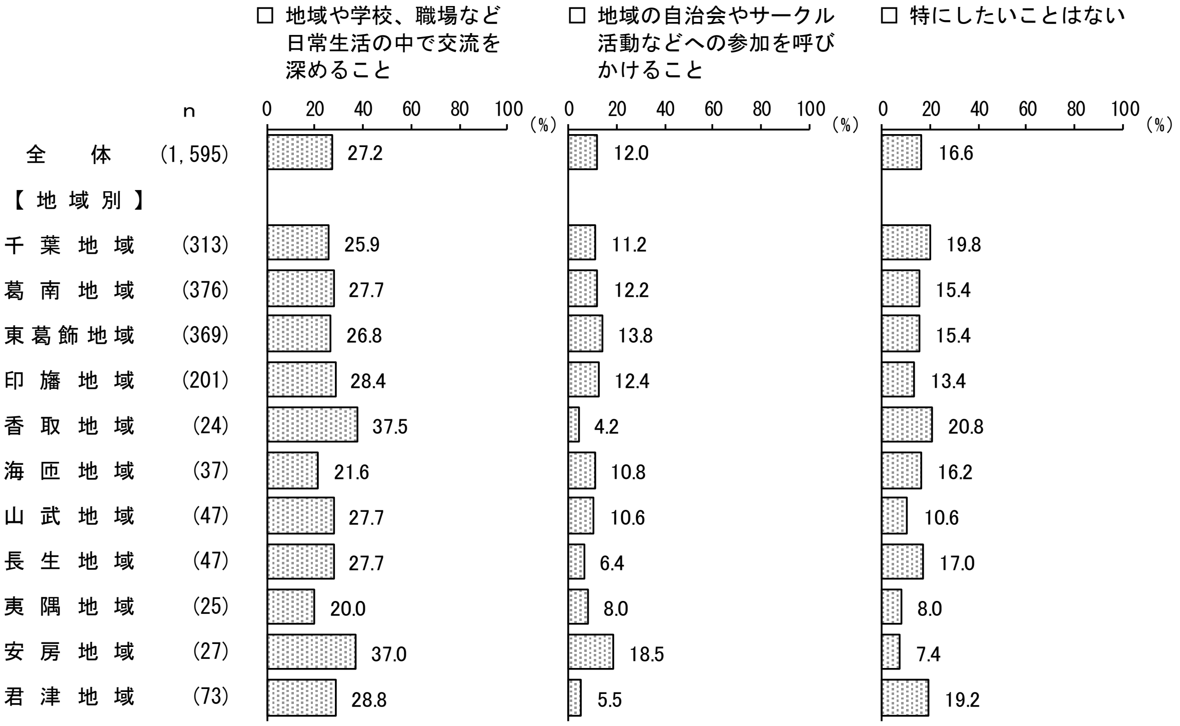
性・年代別にみると「困っている様子があれば助けること」は女性の70～74歳（66.1％）が６割台半ばと高くなっている。

「外国の言葉や文化、習慣を学ぶこと」は女性の30代（60.0％）が６割、女性の40代（59.4％）が約６割、女性の50代（56.5％）が５割台半ばと高くなっている。

「地域や学校、職場など日常生活の中で交流を深めること」は女性の20代（43.1％）が４割を超え、女性の30代（37.0％）が約４割で高くなっている。（図表８－８）

＜図表８－８＞お互いの理解を深めるためにしてみたいこと（複数回答）／地域別、性・年代別





		n	困っている様子があれば助けること (%)	外国の言葉や文化、習慣を学ぶこと (%)	日本語や日本の文化、生活習慣を教えること (%)
全　体		(1,595)	51.0	43.6	29.0
【　性・年代別　】					
男性	男性（計）	(690)	48.1	40.1	30.1
男性	18～19歳	(10)	50.0	60.0	20.0
男性	20代	(42)	50.0	45.2	38.1
男性	30代	(61)	49.2	54.1	36.1
男性	40代	(110)	46.4	50.9	36.4
男性	50代	(108)	46.3	41.7	24.1
男性	60～64歳	(58)	43.1	39.7	25.9
男性	65～69歳	(67)	49.3	37.3	32.8
男性	70～74歳	(114)	51.8	30.7	23.7
男性	75歳以上	(120)	48.3	29.2	31.7
女性	女性（計）	(894)	53.9	46.9	28.3
女性	18～19歳	(7)	14.3	57.1	0.0
女性	20代	(58)	51.7	51.7	34.5
女性	30代	(100)	51.0	60.0	27.0
女性	40代	(175)	56.0	59.4	28.6
女性	50代	(161)	54.7	56.5	34.2
女性	60～64歳	(79)	54.4	44.3	27.8
女性	65～69歳	(72)	55.6	37.5	13.9
女性	70～74歳	(115)	66.1	27.8	30.4
女性	75歳以上	(126)	43.7	28.6	27.0

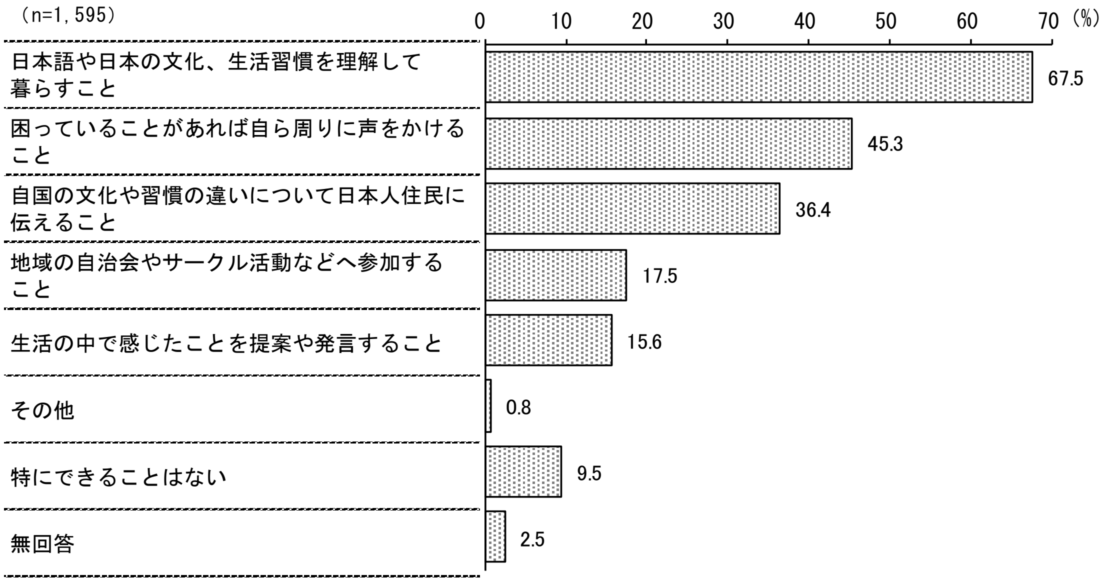
		n	地域や学校、職場など日常生活の中で交流を深めること (%)	地域の自治会やサークル活動などへの参加を呼びかけること (%)	特にしたいことはない (%)
全　体		(1,595)	27.2	12.0	16.6
【　性・年代別　】					
男性	男性（計）	(690)	24.5	12.3	20.1
男性	18～19歳	(10)	40.0	10.0	10.0
男性	20代	(42)	26.2	11.9	14.3
男性	30代	(61)	23.0	9.8	19.7
男性	40代	(110)	24.5	3.6	20.0
男性	50代	(108)	29.6	7.4	17.6
男性	60～64歳	(58)	19.0	13.8	22.4
男性	65～69歳	(67)	22.4	17.9	22.4
男性	70～74歳	(114)	26.3	14.9	21.9
男性	75歳以上	(120)	20.8	20.0	21.7
女性	女性（計）	(894)	29.6	11.9	13.8
女性	18～19歳	(7)	42.9	0.0	14.3
女性	20代	(58)	43.1	3.4	15.5
女性	30代	(100)	37.0	9.0	10.0
女性	40代	(175)	33.1	8.6	6.9
女性	50代	(161)	31.7	8.1	11.2
女性	60～64歳	(79)	30.4	8.9	13.9
女性	65～69歳	(72)	31.9	13.9	9.7
女性	70～74歳	(115)	25.2	20.0	14.8
女性	75歳以上	(126)	11.9	21.4	30.2

（５）お互いの理解を深めるために外国人住民に期待すること

◇「日本語や日本の文化、生活習慣を理解して暮らすこと」が約７割

問31　あなたは、日本人住民とお互いの理解を深めるために、外国人住民に期待することは何ですか。（〇は３つまで）

＜図表８－９＞お互いの理解を深めるために外国人住民に期待すること（複数回答）



お互いの理解を深めるために外国人住民に期待することを聞いたところ、「日本語や日本の文化、生活習慣を理解して暮らすこと」（67.5％）が約７割で最も高く、以下、「困っていることがあれば自ら周りに声をかけること」（45.3％）、「自国の文化や習慣の違いについて日本人住民に伝えること」（36.4％）が続く。（図表８－９）

【地域別】

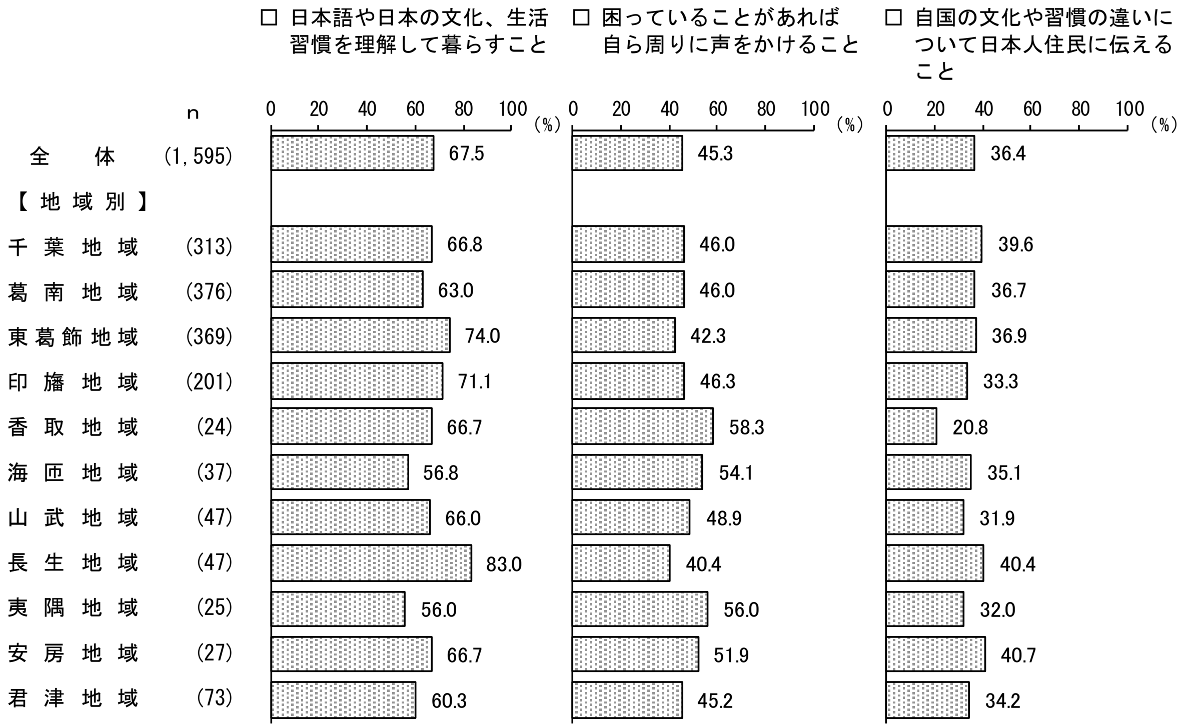
地域別にみると、「日本語や日本の文化、生活習慣を理解して暮らすこと」は“長生地域”（83.0％）が８割を超え、“東葛飾地域”（74.0％）が７割台半ばと高くなっている。（図表８－10）

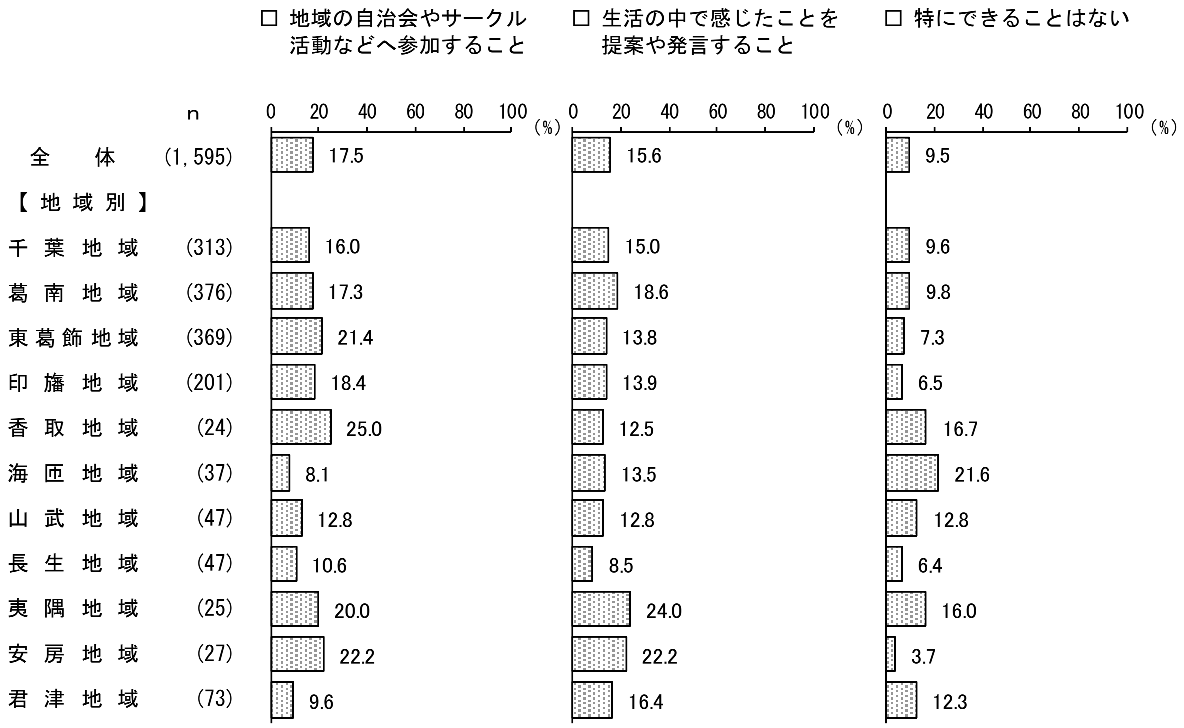
【性・年代別】

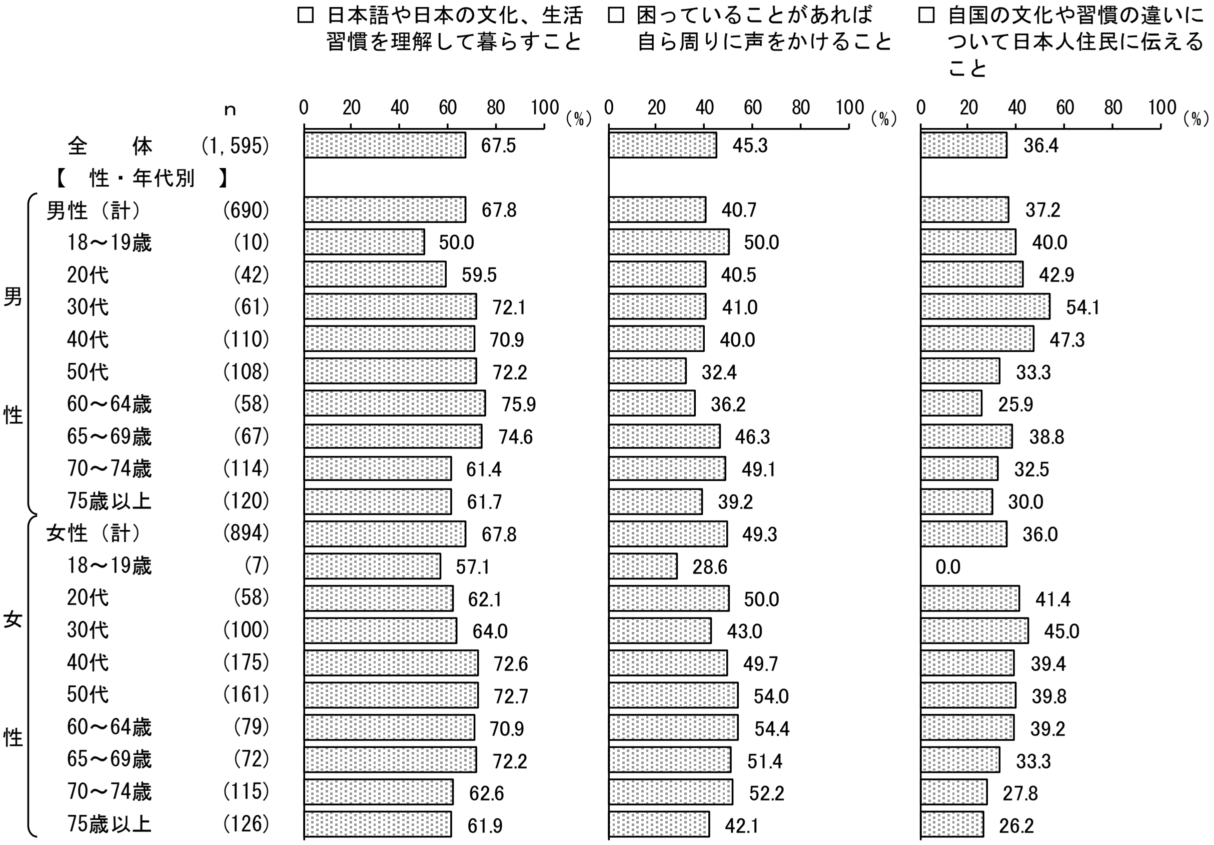
性・年代別にみると「困っていることがあれば自ら周りに声をかけること」は女性の50代（54.0％）が５割台半ばと高くなっている。

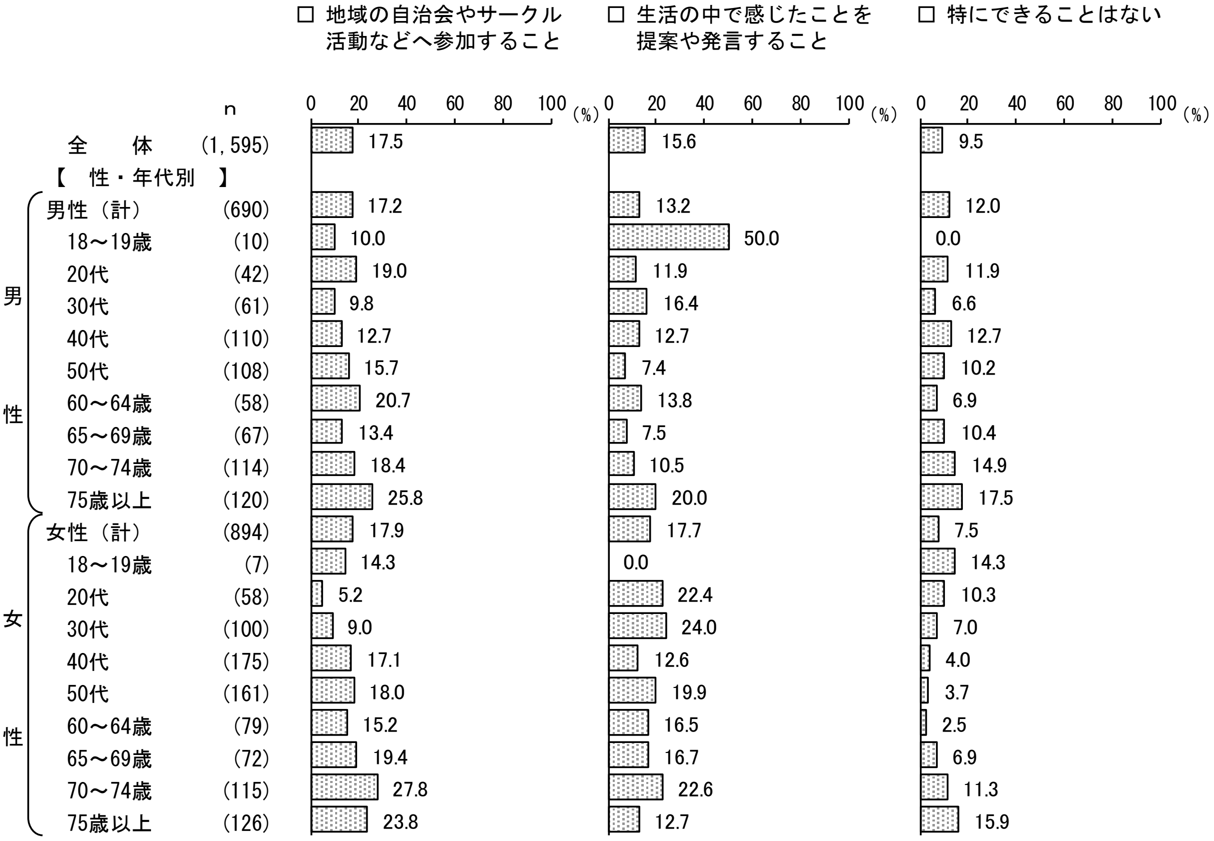
「自国の文化や習慣の違いについて日本人住民に伝えること」は男性の30代（54.1％）が５割台半ば、男性の40代（47.3％）が約５割で高くなっている。（図表８－10）

＜図表８－10＞お互いの理解を深めるために外国人住民に期待すること（複数回答）
／地域別、性・年代別






□ 日本語や日本の文化、生活習慣を理解して暮らすこと
□ 困っていることがあれば自ら周りに声をかけること
□ 自国の文化や習慣の違いについて日本人住民に伝えること
n
0 20 40 60 80 100 (%)
全　体 (1,595) 67.5 45.3 36.4
【　性・年代別　】
男性（計） (690) 67.8 40.7 37.2
18～19歳 (10) 50.0 50.0 40.0
20代 (42) 59.5 40.5 42.9
30代 (61) 72.1 41.0 54.1
40代 (110) 70.9 40.0 47.3
50代 (108) 72.2 32.4 33.3
60～64歳 (58) 75.9 36.2 25.9
65～69歳 (67) 74.6 46.3 38.8
70～74歳 (114) 61.4 49.1 32.5
75歳以上 (120) 61.7 39.2 30.0
女性（計） (894) 67.8 49.3 36.0
18～19歳 (7) 57.1 28.6 0.0
20代 (58) 62.1 50.0 41.4
30代 (100) 64.0 43.0 45.0
40代 (175) 72.6 49.7 39.4
50代 (161) 72.7 54.0 39.8
60～64歳 (79) 70.9 54.4 39.2
65～69歳 (72) 72.2 51.4 33.3
70～74歳 (115) 62.6 52.2 27.8
75歳以上 (126) 61.9 42.1 26.2
男性
女性


□ 地域の自治会やサークル活動などへ参加すること
□ 生活の中で感じたことを提案や発言すること
□ 特にできることはない
n
0 20 40 60 80 100 (%)
全　体 (1,595) 17.5 15.6 9.5
【　性・年代別　】
男性（計） (690) 17.2 13.2 12.0
18～19歳 (10) 10.0 50.0 0.0
20代 (42) 19.0 11.9 11.9
30代 (61) 9.8 16.4 6.6
40代 (110) 12.7 12.7 12.7
50代 (108) 15.7 7.4 10.2
60～64歳 (58) 20.7 13.8 6.9
65～69歳 (67) 13.4 7.5 10.4
70～74歳 (114) 18.4 10.5 14.9
75歳以上 (120) 25.8 20.0 17.5
女性（計） (894) 17.9 17.7 7.5
18～19歳 (7) 14.3 0.0 14.3
20代 (58) 5.2 22.4 10.3
30代 (100) 9.0 24.0 7.0
40代 (175) 17.1 12.6 4.0
50代 (161) 18.0 19.9 3.7
60～64歳 (79) 15.2 16.5 2.5
65～69歳 (72) 19.4 16.7 6.9
70～74歳 (115) 27.8 22.6 11.3
75歳以上 (126) 23.8 12.7 15.9
男性
女性

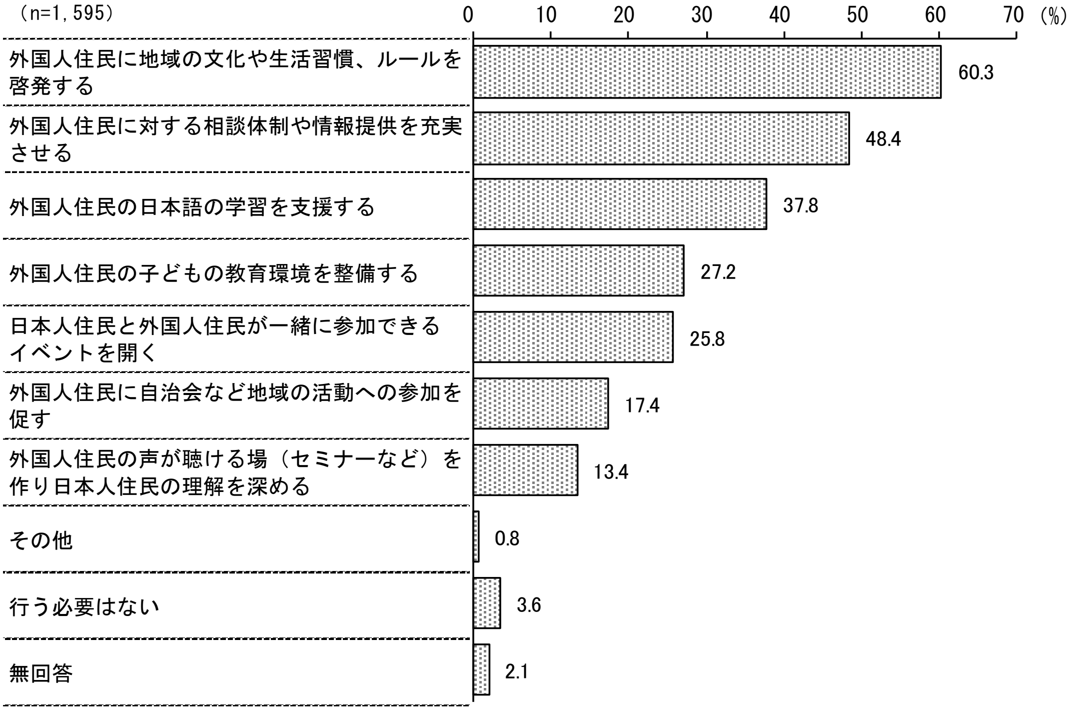
（６）地域社会の一員として共に暮らしていくために取り組むべきこと

◇「外国人住民に地域の文化や生活習慣、ルールを啓発する」が６割

問32　あなたは、国籍や言語、文化、習慣などの異なる人々が、地域社会の一員として共に暮らしていくために、県や市町村が施策として取り組むべきことは何だと思いますか。

（○は３つまで）

＜図表８－11＞地域社会の一員として共に暮らしていくために取り組むべきこと（複数回答）



共に暮らしていくために施策として取り組むべきことについて聞いたところ、「外国人住民に地域の文化や生活習慣、ルールを啓発する」（60.3％）が６割で最も高く、以下、「外国人住民に対する相談体制や情報提供を充実させる」（48.4％）、「外国人住民の日本語の学習を支援する」（37.8％）、「外国人住民の子どもの教育環境を整備する」（27.2％）が続く。（図表８－11）

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表８－12）

【性・年代別】

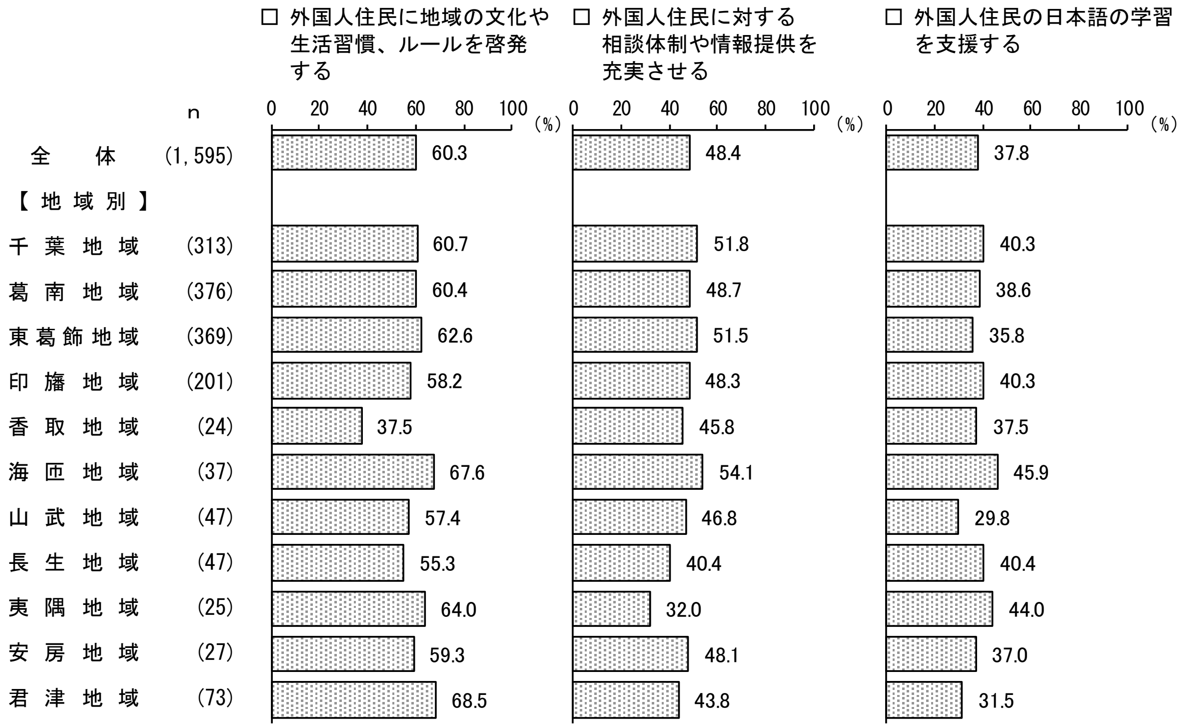
性・年代別にみると「外国人住民に地域の文化や生活習慣、ルールを啓発する」は女性の50代（67.7％）が約７割で高くなっている。

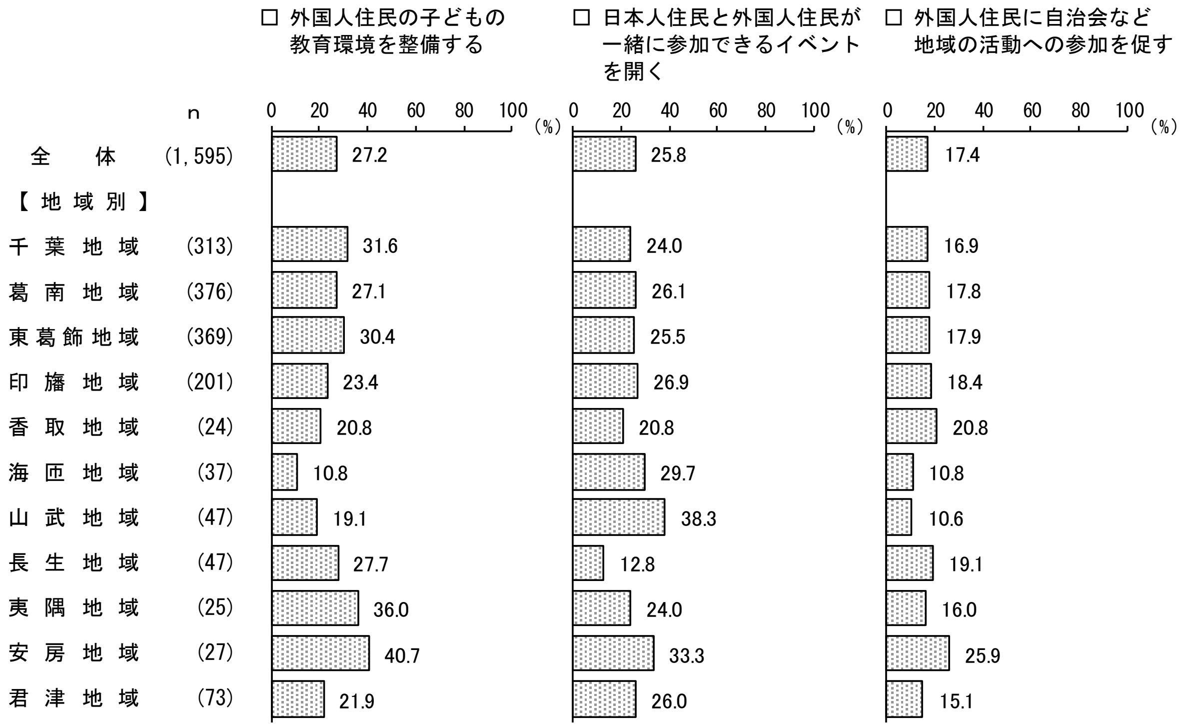
「外国人住民に対する相談体制や情報提供を充実させる」は女性の50代（59.0％）が約６割で高くなっている。

「外国人住民の日本語の学習を支援する」は女性の20代（51.7％）が５割を超え、男性の40代（47.3％）が約５割で高くなっている。

「外国人住民の子どもの教育環境を整備する」は男性の30代（44.3％）が４割台半ばと高くなっている。（図表８－12）

＜図表８－12＞地域社会の一員として共に暮らしていくために取り組むべきこと（複数回答）
／地域別、性・年代別（上位６項目）





	n	□ 外国人住民に地域の文化や生活習慣、ルールを啓発する (%)	□ 外国人住民に対する相談体制や情報提供を充実させる (%)	□ 外国人住民の日本語の学習を支援する (%)
全　　体	(1,595)	60.3	48.4	37.8
【　性・年代別　】				
男性（計）	(690)	60.9	45.7	36.7
男性 18～19歳	(10)	50.0	60.0	50.0
男性 20代	(42)	52.4	54.8	35.7
男性 30代	(61)	70.5	47.5	42.6
男性 40代	(110)	54.5	47.3	47.3
男性 50代	(108)	66.7	48.1	29.6
男性 60～64歳	(58)	69.0	43.1	34.5
男性 65～69歳	(67)	68.7	47.8	31.3
男性 70～74歳	(114)	58.8	42.1	36.8
男性 75歳以上	(120)	54.2	40.0	33.3
女性（計）	(894)	60.5	50.9	38.9
女性 18～19歳	(7)	28.6	71.4	14.3
女性 20代	(58)	60.3	50.0	51.7
女性 30代	(100)	61.0	49.0	38.0
女性 40代	(175)	61.1	51.4	40.6
女性 50代	(161)	67.7	59.0	43.5
女性 60～64歳	(79)	57.0	53.2	48.1
女性 65～69歳	(72)	58.3	56.9	31.9
女性 70～74歳	(115)	60.0	47.8	35.7
女性 75歳以上	(126)	56.3	38.9	27.8

	n	□ 外国人住民の子どもの教育環境を整備する (%)	□ 日本人住民と外国人住民が一緒に参加できるイベントを開く (%)	□ 外国人住民に自治会など地域の活動への参加を促す (%)
全　　体	(1,595)	27.2	25.8	17.4
【　性・年代別　】				
男性（計）	(690)	28.6	21.3	20.0
男性 18～19歳	(10)	40.0	20.0	0.0
男性 20代	(42)	23.8	19.0	16.7
男性 30代	(61)	44.3	14.8	18.0
男性 40代	(110)	31.8	21.8	10.0
男性 50代	(108)	28.7	15.7	13.9
男性 60～64歳	(58)	27.6	13.8	27.6
男性 65～69歳	(67)	22.4	20.9	23.9
男性 70～74歳	(114)	27.2	27.2	20.2
男性 75歳以上	(120)	23.3	28.3	32.5
女性（計）	(894)	26.5	29.4	15.5
女性 18～19歳	(7)	0.0	0.0	14.3
女性 20代	(58)	31.0	22.4	6.9
女性 30代	(100)	29.0	31.0	12.0
女性 40代	(175)	30.3	24.0	12.6
女性 50代	(161)	27.3	26.1	10.6
女性 60～64歳	(79)	22.8	29.1	20.3
女性 65～69歳	(72)	33.3	30.6	15.3
女性 70～74歳	(115)	25.2	40.9	25.2
女性 75歳以上	(126)	17.5	34.1	21.4

このほかにも、外国人住民の増加に対するご意見、地域社会において相互理解を深めるためのご提案、外国人住民との交流経験やトラブルの事例などがありましたら自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、159人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「多文化共生社会の推進について」の自由回答（抜粋）

○日本人同士でもトラブルは少なくないので、相互理解が不可欠と感じる。外国人住民と接する機会はそれなりにあるが、最低限の相互理解があれば、そうそうトラブルにはならないと思っている。（女性、30代、千葉地域）

○日本の人口が減る中で外国人が来てくれることはありがたいと思う。反面、日本の文化やマナーを理解していないことによるトラブルもあると聞くため、相互理解が深まるようにしたい。（男性、30代、葛南地域）

○知らないことに対して不安や恐怖を感じることは、本能なのかなと思います。しかし、外国人だからと言って怖がる必要は全くないので、どんどん相手のこと（国のことや習慣、食のこと）を教えて欲しいなと思います。そういった場があれば、自然とこちらのことも伝えることができるとおもいます。（女性、30代、東葛飾地域）

○日本語がわからない子どもたちが日本語教育を受けられる学校をつくる。公立小・中学校に入ってきても、ある程度言葉が理解できるまでその学校で学習できるとよいと思っています。（男性、60～64歳、東葛飾地域）

○日本の生活に慣れるにはまず地域での決まり事（ゴミ出しのルールとか）を理解してもらう事が大切だと思います。（女性、60～64歳、葛南地域）

○外国の方が日本の文化や生活、ルールなどを理解しやすいようなコンテンツを積極的に発信して欲しい。（女性、30代、千葉地域）

○身近な外国人は友好的で親切だが、日本人よりも外国人を優遇する政策になっているという情報をＳＮＳで見て不安になる事はある。（女性、20代、長生地域）

○駅やコンビニのまわりで多人数で大声での会話を見かける。異国に来て不安なのもわかるが、違和感があり少し不安になる。（男性、60～64歳、葛南地域）

○「多文化共生」は必要な事とは思うが、外国人住民を見ていると自分の事のみ主張して、何かあると「文化の違い」「言葉が解らない」等と、地域のルールを理解しようとしない人が多い。（男性、70～74歳、千葉地域）

○人によると思います。日本人だから安心、外国人だから不安と言う事は無いです。私自身は特に外国人が増えても不安では無いですが、自治体には外国人が安心して暮らせるように支援をしてあげて欲しいです。（男性、50代、千葉地域）